

公共事業等施行状況調（令和4年6月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (6月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		4年度 C	C/A	3年度 D	D/B	
		4年度	3年度	4年度 A	3年度 B					
1	治山・治水	23,764	24,944	16,811	15,541	4,755	28.3	5,589	36.0	
2	農林・水産	32,749	30,988	24,654	22,974	6,702	27.2	4,708	20.5	
3	道 路	53,793	51,428	33,860	30,691	9,983	29.5	12,078	39.4	
4	港湾・空港	7,082	6,973	2,983	3,319	1,156	38.8	1,295	39.0	
5	下水道・公園	9,868	9,525	2,732	2,468	354	13.0	112	4.5	
6	住 宅	1,489	1,805	1,045	1,309	502	48.0	864	66.0	
7	庁 舎	2,467	3,475	2,315	3,240	1,279	55.2	994	30.7	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	5,802	19,321	4,519	13,666	902	20.0	2,217	16.2	
11	工業用水・上水道等	950	1,034	84	102	48	57.1	16	15.7	
12	災害復旧	602	211	457	203	27	5.9	108	53.2	
13	その他	7,419	9,672	4,153	6,705	1,284	30.9	2,488	37.1	
	計	145,984	159,375	93,613	100,218	26,992	28.8	30,469	30.4	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和4年6月末）

（単位：社、件、百万円、％）

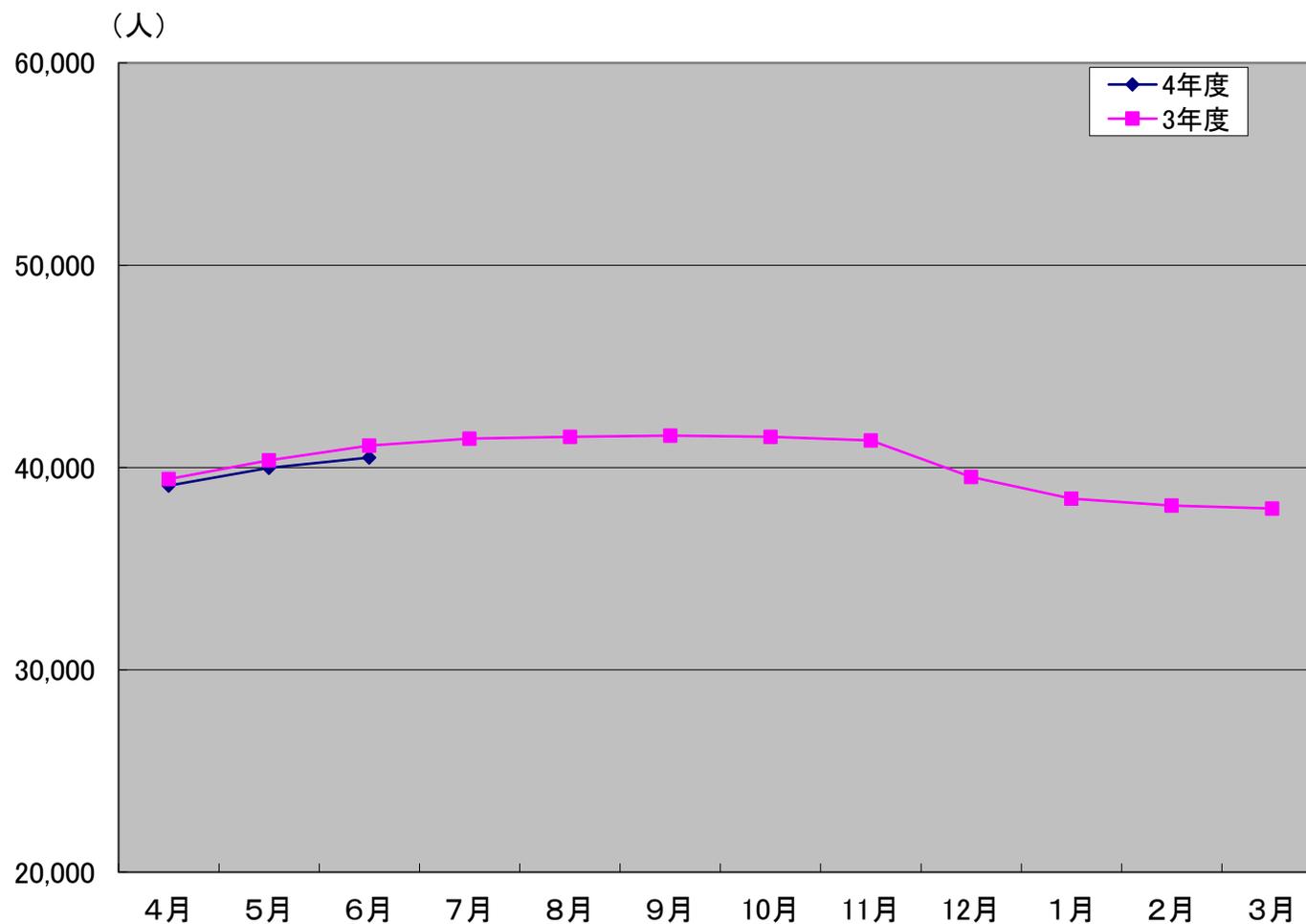
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
4年度	145,984	93,613	6,463	650	26,992	6,296	610	22,750	125	26	1,433	42	14	2,809
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					28.8	97.4	93.8	84.3	1.9	4.0	5.3	0.6	2.2	10.4
前年度比	91.6	93.4	84.8	83.5	88.6	84.5	82.4	91.9	115.7	118.2	100.0	65.6	87.5	65.8
3年度	159,375	100,218	7,625	778	30,469	7,453	740	24,766	108	22	1,433	64	16	4,270
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					30.4	97.7	95.1	81.3	1.4	2.8	4.7	0.8	2.1	14.0

被保険者数

	4年度	3年度
4月	39,104	39,424
5月	39,983	40,359
6月	40,493	41,085
7月		41,421
8月		41,521
9月		41,577
10月		41,516
11月		41,333
12月		39,528
1月		38,465
2月		38,115
3月		37,973

前月末被保険者数	39,983
資格取得者数	1,003
資格喪失者数	478
転入者数	0
転出者数	15
今月末被保険者数	40,493

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)5月末



建設資材の需給・価格動向調査 (4年7月)

	需給動向									価格動向									備 考						
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均		
	緩	均	逼	緩	均	逼	緩	均	逼	緩	均	逼	上	安	下	上	安	下		上	安	下	上	安	下
セメント		○				○			○			○			○			○			○			○	県内の5月の販売量は2万4千トン(セメント協会調べ)で前年同月比29.2%の減。燃料用の石炭価格が高止まりするなか、メーカー各社は当初目標の値上げ額を満たさないと、需要家と交渉を継続している。需要家は状況に理解を示しているが、製造コスト増加による採算悪化を懸念し、さらなる値上げ受け入れには慎重な構え。メーカー各社は粘り強く交渉を続ける意向だが、浸透には時間を要する見込み。先行き、横ばいの公算大。
コンクリート製品		○				○			○			○			○			○			○			○	道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや減少している。コンクリート製品メーカー各社は、製造・輸送コストの上昇を理由に値上げを打ち出しているが、セメントメーカーの更なる値上げ表明や石炭価格サーチャージ制度の導入など、さらに製造コストが増加することに対する危機感を募らせている。需要家は値上げに難色を示しつつも安定調達を優先する姿勢。先行き、強含みの公算が大きい。
生コンクリート		○				○			○			○			○			○			○			○	県内の6月の出荷量は5万6千m3(生コン工組調べ)で前年同月比14.9%の減。メーカー各社は、原材料の値上がりや輸送コスト増加による採算悪化回避のため、4月から1,000円以上の値上げを表明している。荷動きが精彩を欠くなか、採算悪化に危機感を抱くメーカー各社は、早期の価格転嫁を目指し粘り強く交渉を継続。一部の需要家は理解を示しており、目先、強含みで推移する公算が大きい。
砕石		○				○			○			○			○			○			○			○	生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。メーカー各社は、原油高による輸送コストの増加や出荷量減少に伴う固定費率の上昇を理由に値上げを表明。需要家が安定調達を優先し値上げを受け入れた。一部メーカーは、輸送コスト引き続き値上げの未転嫁分の早期浸透を目指し粘り強く交渉を継続しているものの、需要家は慎重な姿勢を崩してはいない。先行き、横ばいの見通し。
小 棒		○				○			○			○			○			○			○			○	SD295・D16でトン当たり121,000円と前月比1,000円の下落。原料の鉄スクラップ価格は5月の連休明け後から下落を続けているが、メーカー各社は未だ採算が改善されていないとし、現行価格維持の姿勢を崩していない。一方需要家は、製品価格が割高であるとし、当用買いに徹しながら厳しい姿勢を示している。鉄スクラップ価格が弱基調で推移するなか、先安観から流通筋の販売競争が散見され始めている。目先、弱含みの公算が大きい。
アスファルト		○				○			○			○			○			○			○			○	6月の県内出荷量は5万7千トン(合材協会調べ)で前年同期比5.3%の増。需要回復が見込めないなか、主原材料のストアス価格が高騰。製造コスト増加に危機感を強めたメーカー各社は、価格転嫁に注力し交渉を継続。需要家は社会情勢の変化に理解を示し、値上げ額の一部を受け入れた。メーカー各社は、引き続き値上げに取り組み構え。一方、採算悪化を懸念する需要家は、度重なる値上げに慎重な姿勢を崩していない。目先、横ばいの公算大。
木 材		○				○			○			○			○			○			○			○	管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり124,000円と前月比変わらず。4月の県内新設住宅着工戸数は591戸で前年同月比29.6%の増加(国土交通省調べ)。ウエイトの高い持家が前年同月比14.6%の減少、貸家が同157.1%の増加などとなっている。夏場に入って全国的に建築用材の需給が緩和しつつあり、流通在庫が増加するなかで、杉やひのきに売り急ぎによる安値ものが散見されている。目先、弱基調の見込み。
油 類		○				○			○			○			○			○			○			○	軽油はミニローリー渡しでリットル当たり121円、重油はローリー渡しで82円と共に前月比1円上伸した。世界的な原油需要の拡大観測などから原油価格は一時高値を付けるも、欧米の中央銀行による金融引き締めが世界経済を冷やすとの見方から下落に転じた。これを受け、元売り仕切価格は6月中旬以降に反落。流通筋も追従したが、価格転嫁の遅れにより小幅な値動きにとどまった。原油相場は不透明な状況が続くものとみられ、目先、横ばいの見込み。
型枠合板			○			○			○			○			○			○			○			○	12×900×1,800mm輸入品で枚当たり2,150円と前月比80円の上伸。18カ月連続で値上がりした。原材料の高騰に伴う生産コスト高で現地価格が続伸、流通筋は仕入れ昇分を販売価格に上乗せする動きを継続している。現地では慢性的な労働者不足に加え、原木不足を背景に大手メーカーの工場が一時停止するなど状況が悪化しており、今後も入荷量回復の見通しが立たない状況。供給不足はしばらく続くものとみられ、先行き、強含み。
形 鋼		○				○			○			○			○			○			○			○	200×100でトン当たり126,000円と前月比1,000円の上伸。原料の鉄スクラップは大幅に続落したが、メーカー各社は、値上げは不十分として価格優先の販売姿勢を崩していない。流通各社は、メーカーの販売姿勢を支援に、仕入れ価格上昇分の転嫁に向けて交渉を継続し、値上げ額の一部が浸透した。市中荷動きに直結する中小物件が低迷しているため、今後の商況も盛り上がりや欠くと予測される。流通各社の売り腰に緩む気配はみられず、目先、強含みの公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (4年6月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)							
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	14,400	0.0	14,400	0.0	14,400	0.0	14,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	3,060	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	37,900	0.0	37,900	0.0	37,900	0.0	37,900	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	11,800	0.0	15,500	0.0	13,433	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,300	0.0	3,200	0.0	4,500	0.0	3,667	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	4,000	0.0	3,900	0.0	4,700	0.0	4,200	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	3,100	6.9	3,000	0.0	3,300	0.0	3,133	2.2	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	151,000	3.4	151,000	3.4	151,000	3.4	151,000	3.4	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	121,000	-0.8	121,000	-0.8	121,000	-0.8	121,000	-0.8	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	128,000	4.9	128,000	4.9	128,000	4.9	128,000	4.9	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	15,100	15.3	15,400	14.9	14,300	11.7	14,933	14.0	149,330円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	124,000	0.0	124,000	0.0	124,000	0.0	124,000	0.0	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	121.0	0.8	121.0	0.8	121.0	0.8	121.0	0.8	121,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	82.0	1.2	82.0	1.2	82.0	1.2	82.0	1.2	82,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	2,150	3.9	2,150	3.9	2,150	3.9	2,150	3.9	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	126,000	0.8	126,000	0.8	126,000	0.8	126,000	0.8	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

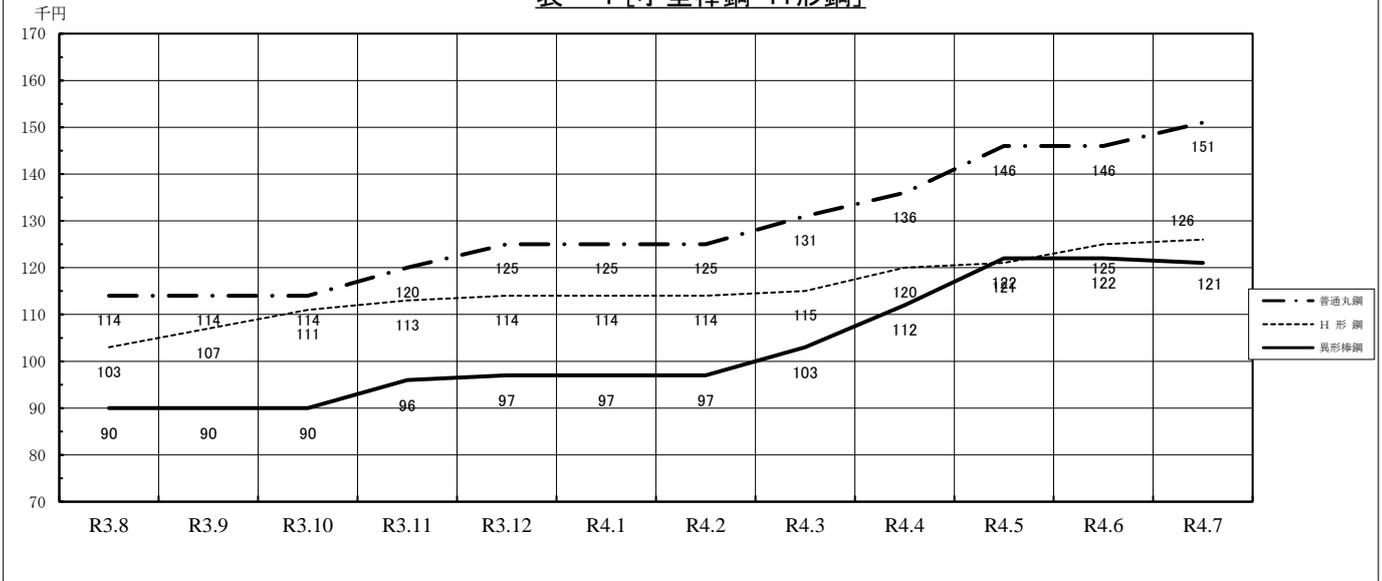


表-2 [セメント・生コン]

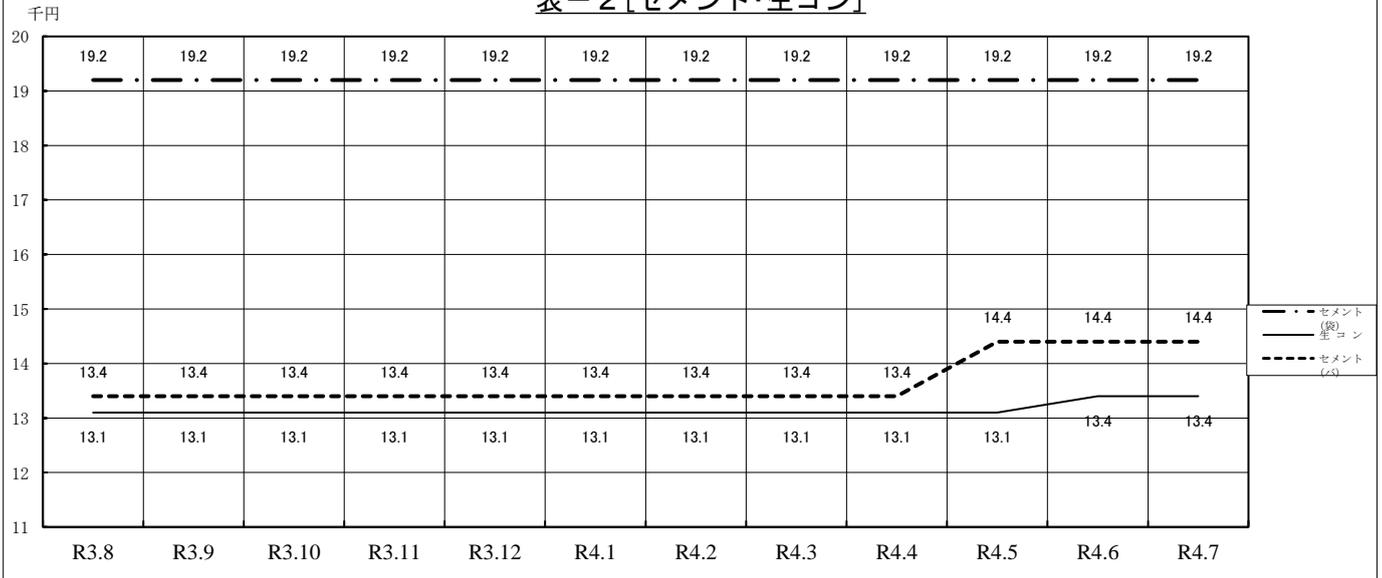
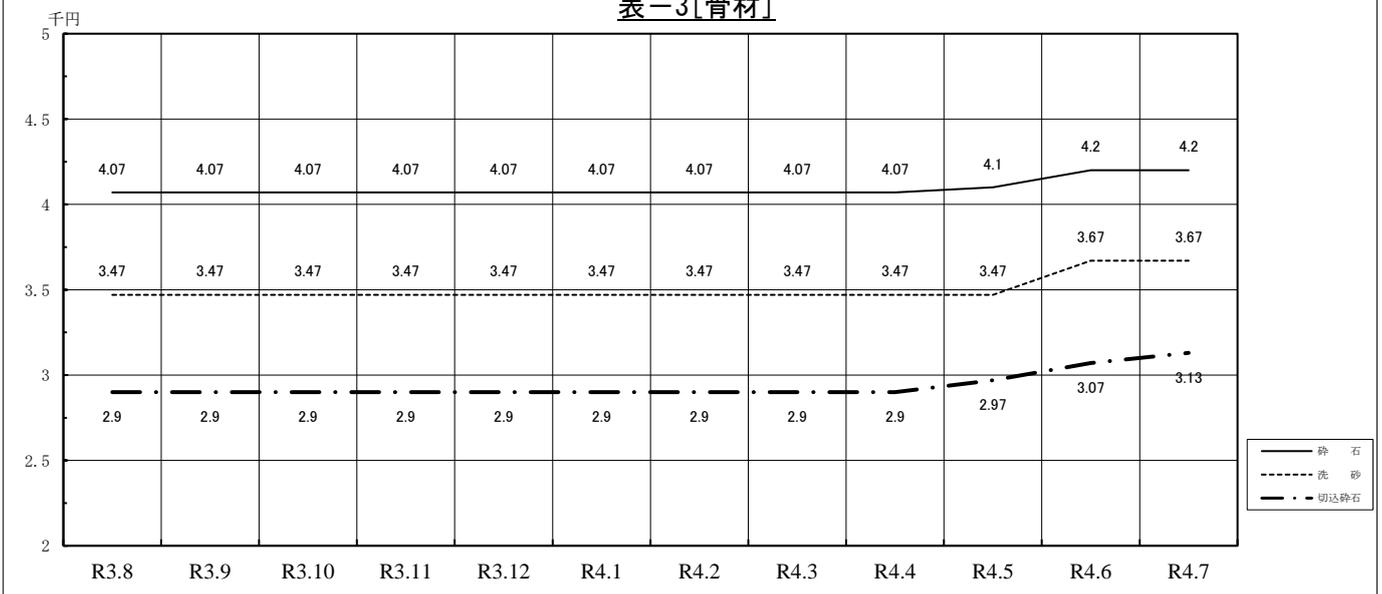


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

